

推進

平成25年
3月10日

13:30~16:30 (開場13:00)

まなびタウンとうはく
多目的ホール

東伯郡琴浦町徳万266-5 (JR琴安駅前)

参加費無料

定員 250人

いつまでも 自宅で住み続けられる 地域をどうつくるか

多くの高齢者は住み慣れた自宅や地域で、医療・介護等のサービスを受けながら生活し続けたいと望んでいますが、現状では、最期まで自宅・地域で暮らすことができる方はごくわずかです。いつまでも在宅生活を続けていくことができる地域とするには、何が(誰が)どのようなであればよいか、在宅看取りと、医療と介護の連携を軸に、医療・介護・福祉・行政それぞれの立場から鳥取県における地域包括ケアの体制づくりを考えます。

基調
講演

地域に"寄りそ医"20年

～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～

講師: **中村 伸一氏**

(福井県おおい町 国民健康保険名田庄診療所長)

パネルディスカッション

地域・自宅で住み続けられる体制づくりをどう進めるか

アドバイザー 中村 伸一氏

パネリスト 小林 良守氏 (社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会地域福祉部長)

竹本 匡吾氏 (社会福祉法人地域でくらす会副理事長)

藤原 静香氏 (琴浦町地域包括支援センター主査)

コーディネーター 竹川 俊夫氏 (鳥取大学地域学部准教授)

お問い合わせ先

鳥取県福祉保健部長寿社会課

TEL 0857-26-7176 FAX 0857-26-8127

●申込み:裏面の参加申込書をご記入の上、郵送またはFAXでお申込みください。

折り返し参加票をお送りしますので、当日お持ちください。

●申込み締切り:平成25年2月25日(月)

主催:鳥取大学(地域貢献支援事業)、鳥取県

後援:新日本海新聞社、琴浦町、鳥取県医師会、鳥取県病院協会、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県看護協会



中村 伸一氏

国民健康保険 名田庄診療所長



平成元年自治医科大学卒業。平成3年福井県庁からの派遣で旧名田庄村に赴任。以降、福井県立病院の研修期間を除き、国民健康保険名田庄診療所の所長として20年に渡り地域医療を支えている。平成21年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK）に出演。平成24年テレビドラマ『ドクター』（NHK-BSプレミアム）のモデルとなる。

※旧名田庄村の老人医療費や第1号介護保険料は、保健・医療・福祉の連携により、福井県内で低い水準となっている。また、同地域の在宅死亡率は約4割。



著書

『自宅で大往生』
「ええ人生やった」と言うために
(中公新書ラクレ)

『寄りそ医』
支えあう住民と医師の物語
(メディアファクトリー)



地域包括ケア推進フォーラム (平成25年3月10日)

申し込み先

【郵送先】 〒680-8570 鳥取市東町1-220
鳥取県福祉保健部長寿社会課

【F A X】 0857-26-8127

※折り返し参加票をお送りしますので、当日お持ちください。

参加申込書

所属名 ^{※1}	
住所	
電話番号	

※1 個人でお申し込みの方は「自宅」とご記入ください。

参加者

氏 名	職 種 ^{※2}

※2 職種のある方のみご記入ください。